

2023年5月11日

各位

会社名 クルーズ株式会社
(コード番号 2138: 東証スタンダード)
所在地 東京都渋谷区恵比寿四丁目3番14号
恵比寿SSビル
代表者 代表取締役社長 小淵宏二
問合せ先 取締役 最高財務責任者 CFO 稲垣佑介
電話番号 (03) 6387-3622

2023年3月期 法人税等調整額(損)の計上及び通期連結業績と前期実績の差異に関するお知らせ

当社は、2023年3月期(2022年4月1日~2023年3月31日)において、法人税等調整額(損)を計上するとともに、通期連結業績と前期実績との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。なお、当社は当該期間に係る業績予想を公表していないため、増減につきましては実績値との比較になっております。

記

1. 法人税等調整額(損)の計上について

当社は、繰越欠損金の解消に伴い繰延税金資産の一部を取り崩したこと等により、法人税等調整額(損)を126百万円計上することといたしました。

2. 開示を要する差異が生じた理由

売上高は前期比で9.5%の減収となりました。主な理由としては、主力事業のSHOPLIST事業が取扱高の減少により前期比で19.4%の減収になった点が挙げられます。

営業利益に関しては、当期644百万円の営業利益となり、前期比で47.9%の減益となりました。主な理由としては、主力事業のSHOPLIST事業が、取扱高の減少により前期915百万円のセグメント利益から当期98百万円のセグメント損失となったことが挙げられます。一方で、上記以外の事業については、ゲーム事業はゲーム開発費の負担が無くなったことから前期379百万円のセグメント損失から、当期は72百万円のセグメント利益となっていること、インターネット広告・メディア事業については前期671百万円のセグメント利益から当期747百万円のセグメント利益となっております。また、経常利益の差異についても、営業利益と同様の要因によるものです。なお、親会社に帰属する当期純利益に関しては、上述の通り法人税等調整額(損)を計上した結果となっております。

詳細については、本日開示しました「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご覧ください。

3. 2023年3月期(通期) 連結業績と前期実績値の差異

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前期実績値(A) (2022年3月期)	百万円 15,477	百万円 1,238	百万円 1,292	百万円 310	円 銭 27.91
当期実績値(B) (2023年3月期)	14,000	644	628	254	22.92
増減額(B-A)	△1,476	△593	△664	△55	—
増減率(%)	△9.5%	△47.9%	△51.4%	△17.9%	—

以上